

1～4号炉は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

■ 本号の内容

2022年12月1日 発行

- 発電所の業務をご紹介します
- みなさまのご質問におこたえします
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 秋の地域イベントが開催されました
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



北田天満宮の大鳥居（楡葉町）
撮影日:2022年11月8日



みなさまの声をお聞かせください
こちらのメールアドレスにてお待ちしております。
fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。
<https://www.tepco.co.jp/2f-np/index-j.html>

発電所の業務をご紹介します

今回は**保全・工事部**
直営グループです

当所では、原子力事故の教訓を踏まえ、直営作業（直接の復旧作業）の拡大を図り、自ら点検作業等を行うことで必要な現場力・技術力を向上させ、緊急時に必要な復旧作業を社員のみで対応できる「直営技術力」の強化に努めています。

直営グループでは、実際の機器を使用して点検・訓練を行うことで直営技術向上を図り、発電所の運営維持に必要な機器の直営化を目標に、業務を行っています。



排気弁の組み立て・分解作業訓練の様子



ポンプとモーターの中心軸を調整している様子

安全の意識を高く持ち、コミュニケーションを大切にしながら業務に取り組む



保全・工事部 直営グループ

ひらた かんた

平田 栞大（南相馬市小高区出身）

趣味：ゴルフ、釣り

－業務について教えてください

直営作業では、機器の分解から組立を通して機器の構造や手順等を理解しながら、技術を磨き、日々の業務に取り組んでいます。

点検が安全に遂行できるように、関係者全員で現場に潜む危険を洗い出し、現場作業の安全管理にも努めています。

また、自分達で作業を進めるにあたり、作業を安全に効率よくできないかを検討・検証し達成できたものは協力企業へフィードバックしています。

－業務を行う上で心がけていることは

現場作業には、さまざまな危険が潜んでいるため、事前確認等を行い、作業時の怪我には十分注意しています。

作業時のコミュニケーションエラーは、災害につながってしまうので作業中はコミュニケーションを取り、周囲状況を確認しながら作業をするよう心がけています。

－地域のみなさまとともに

地元のお祭りの相馬野馬追に小学3年生から毎年参加しています。今後も福島復興に向けて地域のみなさまとともに歩んでまいります。



相馬野馬追に参加している様子

みなさまのご質問におこたえします

Q. 原子力発電所で使う放射線測定器はどのように管理しているのですか？

A. 原子力発電所では放射線を測るため、目的に応じてさまざまな放射線測定器（以下、測定器）を使用しています。

測定器は定期的に校正※¹し、保守点検を行うことで、精度を維持しています。正確な測定器を正しく取り扱うことが、放射線管理の基盤となります。

※1 国の法令で定められた基準測定器の値と校正対象の測定器の値を比較し、計測器が正常な値を示す状態を確保すること。

【放射線の数を知る】

GM※²管式サーベイメータ



測定物の表面に付着する放射性物質から出る放射線の数を知る

※2 ガイガー・ミュラーカウンタ

【空間の放射線の強さを測る】

電離箱式サーベイメータ



作業現場の空間放射線量率を測る

モニタリングポスト



敷地境界の空間放射線量率を測る

【人体が受ける放射線量を測る】

個人線量計



外部から受ける放射線量を測る

ガラスバッジ



外部から受けた積算の放射線量を測る

ホールボディカウンター



体内の放射線量を測る

発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

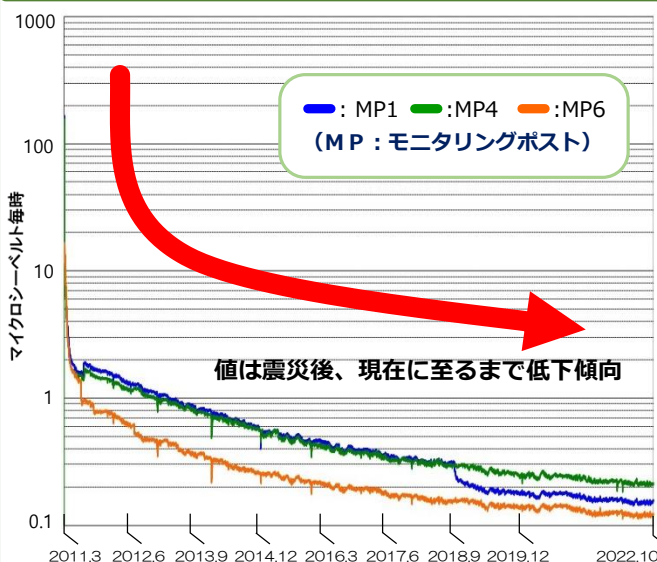
発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2022年11月17日 時点

0.08 [MP7] ~ 0.23 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで (2011年3月16日~2022年10月31日)



参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (文化交流センター)	0.13	檜葉町 (役場)	0.07
広野町 (役場)	0.08	川内村 (役場)	0.08

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より (2022年11月18日 12:00時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.12
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典：福島県放射線測定マップ、在大韓民国日本国大使館ホームページより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1~4号炉の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号炉	2号炉	3号炉	4号炉

秋の地域イベントが開催されました

～ ならSUNフェス2022 ～

11月12日、楡葉町の秋の収穫を祝う「ならSUNフェス2022」がみんなの交流館ならはCANvas（キャンパス）で開催されました。

周辺地域・県内外のみなさまに食と農を満喫してもらうイベントとして、2018年に始まった「ならSUNフェス」は今年で5年目。オープニングでは毎年恒例の大餅まきが行われ、大勢の来場者でにぎわいました。

会場ではこの他、お米・サツマイモマイスターききあてSHOW、生産者さんいらっしやいクイズ、丸太切り競争などの参加型イベントや、チェーンソーアート展示、地元団体によるステージが催され、訪れた人は秋の味覚を味わいながら楽しいひとときを過ごしていました。



毎年恒例の大餅まきの様子

～ 第92回 富岡えびす講市 ～

11月12日、富岡町の秋の風物詩「富岡えびす講市」が新型コロナウイルス感染症の流行から3年ぶりに富岡町立富岡第一小学校跡地等で開催されました。大正12年から商売繁盛と五穀豊穰を願い、事大主神社の祭礼に合わせて行われる歴史ある秋市。ステージではカラオケ大会、YOSAKOI、福島県出身のアーティスト渡辺俊美さんのスペシャルライブなど多彩なイベントが会場を盛り上げました。広い校庭では露店がならび多くの買い物客でにぎわい、サッカー教室、警察署や消防署の緊急車両の展示、手作り豚汁の振る舞いは大好評で、青空の下、子供たちの笑顔であふれていました。大抽選会では家族づれが番号札を手持ちに、顔をみあわせて楽しむ声が聞こえました。



YOSAKOIの様子



みなさまの声を聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくり等のため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにて
お待ちしております。

fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくり等の参考にするを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。



編集後記

今年も早いもので締めくくりの時節となり、寒さも本格的になってきました。

2019年4月に営業を再開した「道の駅ならは」の日帰り温泉は、自宅からも近いためよく足を運びます。1階フロアでは、地元特産品や新鮮な食材を購入することができ、温泉以外にも楽しめます。

ぜひ、みなさまも足を運んでみてははいかがでしょうか。



発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,214人※です。(2022年10月1日現在)

※1日あたりの入構者数は約770人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	354人	1,571人	1,925人 (85%)
県外	49人	240人	289人 (15%)
合計	403人	1,811人	2,214人 (100%)

福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。

<https://www.tepco.co.jp/2f-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楡葉町大字波倉字小浜作12
Tel 0240-25-1353 (受付時間 (平日) 午前9時～午後5時)
fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)